

vol.  
213

2022 Sep

# 赤十字かごしま



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society



## 青少年赤十字 創設100周年

青少年赤十字は、1922年に滋賀県の琵琶湖近くにある「守山(もりやま)小学校」での「少年赤十字団」の奉仕活動から始まり、今年で100周年を迎えました。

鹿児島県では、令和4年3月31日現在、496校(園)89,432人のメンバーが登録されています。

今後もいのちの大切さや、人のために自ら考えて行動できる子どもたちの育成を支援してまいりますので、引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。

- ▷ 日本赤十字社鹿児島県支部創立130周年
- ▷ 私たちはこんな活動をしています!
  - 防災セミナー ●救急法等の講習 ●青少年赤十字の活動
- ▷ 鹿児島県赤十字有効会から赤十字事業への支援活動
- ▷ 赤十字サポーターを募集しています!
- ▷ 聞いて効いて VOL.75
- ▷ 献血のお願い

各種SNSで活動報告中!  
是非ご覧ください



Facebook



Instagram

# 日本赤十字社鹿児島県支部創立130周年



令和4年9月6日に日本赤十字社鹿児島県支部は創立130周年を迎えました。  
これまで赤十字を支えていただいた多くの方々に感謝申し上げます。  
今後も、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」活動を行ってまいりますので、  
引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 私たちはこんな活動をしています（活動の一部をご紹介します）

### 防災セミナー

日本赤十字社は、過去の災害から得た教訓を踏まえ、いつ起こるかわからない災害から命を守るためには、ご自身とご家族を守る「自助」の力と、地域にお住まいの皆さんが協力して難局を乗り切る「共助」の力が重要だと考えています。私たち日本赤十字社は、皆さまの「自助」「共助」の力を高める防災セミナーを開催しております。

#### 災害図上訓練（DIG）



地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所を把握・理解し個人や地域での防災対策につなげます。  
※DIGとは Disaster（災害）Imagination（想像力）、Game（ゲーム）の頭文字を取って命名されました。

#### 災害エスノグラフィー



大規模災害の被災者の経験談（読み物）を通じて、災害を追体験し、被災の具体的なイメージを理解します。

### 救急法等の講習

日本赤十字社鹿児島県支部では、人命を救う方法や健康で安全に暮らすための知識や技術を伝える、救急法、水上安全法、健康生活支援講習及び幼児安全法の講習会を開催しております。

#### 救急法



日常生活における事故防止や手当の基本、胸骨圧迫や人工呼吸の方法、AEDの使用法、止血の仕方、包帯の使い方、骨折などの場合の固定方法、災害時の心得などについての知識と技術を習得できます。

#### 水上安全法



水と親しみ、水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本や自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を習得できます。

#### 健康生活支援講習



誰もが迎える高齢期を、健やかに生きるために必要な健康増進の知識や高齢者の支援・自立に向け役立つ介護技術を習得できます。

#### 幼児安全法



子どもを大切に育てるために、乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気の症状に対する手当などの知識と技術を習得できます。

## 青少年赤十字の活動

青少年赤十字のプログラムの一つである「リーダーシップ・トレーニング・センター」（通称トレセン）は、集団生活を伴う学習活動の場で、学校や地域においてリーダーシップを発揮できる児童・生徒の育成を目指し、開催しております。



令和4年度  
与論島トレセンの様子



## 鹿児島県赤十字有功会から 赤十字事業への支援活動

令和4年6月27日、鹿児島県赤十字有功会から鹿児島赤十字病院に、採血等で使用する注射台が1台寄贈されました。

患者様からは“車いすでも使用しやすい”と大変好評です。

また、令和4年度は青少年赤十字創設100周年ということもあり、トレセン参加記念品として文房具が寄贈されました。

鹿児島県赤十字有功会の皆さま、ありがとうございました！



寄贈された注射台



トレセン参加記念品

## ～赤十字活動に協力してくださるサポーターを募集しています～

日本赤十字社への活動にご理解・ご協力をいただいている法人様への制度の一つに、「赤十字サポーター」「災害救護赤十字サポーター」がございます。

これは、継続的な日赤活動資金の納入に加え、日赤の事業・活動に積極的にご協力いただく法人様のことです。

### ①認定について

- ・認定申込書の提出
- ・赤十字サポーター：毎年10万円以上のご支援と②の取組を1つ以上の実施
- ・災害救護赤十字サポーター：毎年5万円以上のご支援と合わせて②の取組を任意で実施

※ご寄付の累計額により、日本赤十字社または国の表彰の対象となります。



赤十字サポーター認定証



### ②協力の取組

- ・寄付機能付き自動販売機の設置
- ・事業所の窓口等への募金箱の設置
- ・赤十字ポスター等広告物の掲示、設置
- ・その他日赤の活動を支援するための特別なご協力

### ③その他

令和4年度から、鹿児島県における建設工事入札参加資格における総合点数の加点内容の一つに、当該制度が加えられました。詳細は当県支部HPまたはお電話等によりお問い合わせください。

赤十字サポーターの内容や手続き等に関するお問い合わせ先

日本赤十字社鹿児島県支部 組織振興課  
TEL 099-252-0600

乾癬性関節炎は、皮膚に症状があらわれる「乾癬」と関節に症状があらわれる「関節炎」を併せ持った病気です。乾癬では、肘や膝、頭皮などに、ぽろぽろと剥がれおちる、厚い角質を伴った紅斑ができたり、爪の変化が起きたりします。一方、関節炎では、手足の指先の関節や、足裏、かかとの腱のあたりに痛みや腫れ、首や背中にこわばり感などがみられます。どちらも身体の中の免疫の異常が原因で、炎症による症状が皮膚と関節の両方に出ている状態だといえます。

乾癬性関節炎の原因ははっきりとはわかっていませんが、遺伝的な体質と、ストレスや感染症（かぜ、扁桃炎など）、皮膚への刺激、生活習慣（飲酒や喫煙、メタボリックシンドローム）などの要因が複雑に関わり合っておきると考えられています。

乾癬性関節炎の治療では重症度に応じた薬物治療を行います。軽症の方には非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）という炎症を抑えることで関節の痛みを和らげる飲み薬を内服します。中等症以上では、免疫の異常を抑える免疫抑制薬（飲み薬）や生物学的製剤（注射薬）を使用します。

乾癬の症状の悪化には、日常生活の習慣が深くかかわっていることがわかっています。治療とともに、できるだけ以下の生活を心がけることも大切です。

- 皮膚への刺激を避ける
- バランスのよい食事
- 感染症に注意する
- ストレスをうまく発散させる

## 献血のお願い

冬場は献血者が減少します！

冬場はインフルエンザの流行など体調を崩される方が多くなり献血者が減少します。



医療機関へ安定的に輸血用血液をお届けするために、定期的・継続的な献血へのご協力をよろしくお願いたします



鹿児島県赤十字血液センター  
所長 竹原 哲彦



鹿児島県赤十字血液センターHP

## PRESENT

赤十字オリジナルグッズを  
抽選で5名様に  
プレゼント!!



何が届くかお楽しみ♪  
たくさんのご応募お待ちしております!!

《応募先》  
MAIL soshiki-rc@kagoshima.jrc.or.jp  
FAX 099-258-7037  
郵送 〒890-0064  
鹿児島市鴨池新町1-5  
日本赤十字社鹿児島県支部  
「赤十字かごしま」プレゼント係

締切:令和5年1月31日消印有効

【必要事項】  
①お名前  
②郵便番号・住所  
③電話番号  
④年齢  
⑤「赤十字かごしま」の入手先  
⑥ご意見・ご感想など

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。  
※本プレゼントの応募を通じてご提供いただきました個人情報は、本プレゼントの運営に関する以外での目的で使用することはありません。



### 赤十字見学者募集!

皆さまからお寄せいただいたご寄付がどのように使われているか見学してみませんか？詳細は左記連絡先へお問い合わせいただくか、またはホームページ「施設見学」メニューをご覧ください。